※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	高校生の美術１　授業資料　（日本文教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画、彫刻の分野では基礎を学びながら、感じ取ったイメージを膨らませて、発想力、構想力を見つけていきましょう。
・デザインの分野では目的と機能を考え、基礎を学びながら表現力を高めていきましょう。
・鑑賞の分野では作品の特徴や表現方法を発見し、作品ができる背景や意図を考えながら自分なりの感じ方、見方を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、表現を工夫したり深く味わったりできる。
(１)対象や事象を促える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫している。
(２)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
(３)美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じで表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	美術とは	・オリエンテーション 教科書や配布プリントを見ながら授業内容について知る。 ・プリント課題	a: 美術について造形的な視点について理解を深めている。 b: 美術の働きについて考えたり感じ方を深めたりしている。 c:美術作品に関心を持ち、意欲的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題	プリント課題	振り返りプリント
	人物クロッキー	・描き方指導 用紙にモデルとなる人物を３ポーズ描く。 １ポーズ（８分間） ・素材を変えて描いてみる。	a:クロッキーについて理解を深め、対象を観察して鉛筆の使い方を工夫しながら描いている。 b:人物クロッキーの良さや美しさを感じ、線の的確さ、線の動きなど表現の工夫している。 c:主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	鉛筆デッサン基礎①	・鉛筆について知る。 ・デッサンの鉛筆の削り方を学ぶ。 ・鉛筆を使って、７段階でグラデーションを描く。 ・立体物の明暗を描く。（立方体、球体、円柱）	a:鉛筆の表現や特性をについて理解している。 b:鉛筆の線の美しさや明暗の表現を工夫している。 c:デッサンの表現方法に関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	鉛筆デッサン基礎②	・立方体を描く ケント紙で立方体を制作し、モチーフにする。 ・教科書を見ながら技法を学ぶ。	a:造形的な特徴を理解し、鉛筆の特性を生かしながら主題を追求して表現することができる。 b:デッサンの表現の特性を生かし、形体について考え造形的な表現ができる。 c:主題に関心を持ち主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主（c)
前期	色彩基礎①	・色の学習プリントや教科書を使って色について学ぶ。 ・色のトーン表制作 ・色相環	a:色の効果や表現の多様性を理解している。 b:色の特性を生かし、色彩について考え創造的な表現の構想を練っている。 c:色について関心を持ち主体的に創造的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	色彩基礎②	・色彩構成 ・画用紙に画面分割して配色を考える。 ・着彩する。 ・ふりかえり鑑賞	a:色の混色や配色の美しさを理解し、表現方法を創意工夫している。 b:配色や表現方法を生かし創造的に構想を練ることができる。 c:色の持つ効果や配色の美しさに関心を持ち、主体的に創造的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
後期	パターンレリーフ	・パターンレリーフについて学び、ユニットのデザイン構成を考える。 ・制作①（切り込み） ・制作②（貼り付け）	a:パターンやデザインについて理解し、表現方法を創作工夫している。 b:パターンレリーフの特性や美しさを考え、創作的な表現の工夫することができる。 c:デザインのパターンや繰り返しの表現方法に関心を持ち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	版で表現する	・版画について知る 版画作品を鑑賞する。 ・消しゴム判子のデザインを考える。 ・彫刻刀の使い方を学ぶ。 ・彫刻刀で彫っていく。 ・完成した判子を使って制作する。	a:版画表現や版画作品を通して造形的な特徴を理解している。 b:版の表現や彫刻刀の特性を生かして構想を練り、創造的な工夫することができる。 c:作品鑑賞に関心を持ち、意欲的に創主体的に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

				評価方法		
				知(a)	思(b)	主（c)
後期	自画像を描こう	・鏡に写り込んだ自分の顔を描く。 ・顔の角度を決める、骨格を意識しながら観察する。 ・様々な人物画の作品を鑑賞する。 ・制作	a:自画像の作品を通して造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風を捉えることができる。 b:表現形式の特性を生かし、構成などについて創造的な表現の工夫を練ることができる。 c:主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント
	抽象表現で表す	・動きをあらわす言葉をイメージして、立体物をつくる。 ・アイディアスケッチの制作 ・石膏粘度で土台と芯を作る。 ・乾燥後、磨き作業、着彩。	a:彫刻の材料や特性を理解し、材料や用具を活用しながら創作工夫している。 b:生活や環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。 c:抽象表現で表現することに関心をもち、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度